

ま な び や

夏期特集展示 7/13 5/10

『昔の夏休み』

一八七二(明治5)年の学制公布の頃には、一般に盂蘭盆(うらんぼん)休みはありましたが、長期の休暇は定められていませんでした。現在のように7月下旬から8月末までというのは、昭和10年代に入って(ただし、戦時中は除く)のことでした。今の学校制度の基本は、明治の初めに欧米の国々を参考にして作られました。近代化を進める明治政府は、外国人教師を雇用するとともに、欧米の教育制度を取り入れました。そのため、明治時代の学校は9月に始業して、翌年6月に終業する学校が多くあったので、長い休みを取るには夏休みが良かったようです。その後、4月入学が多くなり、大正10年、全国全ての学校が4月入学となりました。

休 夏		月	日	曜	気象	起	就	歯・磨	夜・寝	朝・起	種	種	朝	食	事	間	食	手	
時	時					時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時

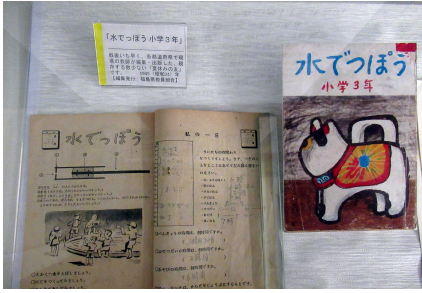
夏休生活日記：尋常小学校高等科2年(昭和15年)

夏休みの計画・生活日記

夏休みのドリルなどには、計画表があり時計の文字板に針を書いたり、時間を帯状にグラフと表を書いたり、1日の生活と休み中の計画を決めて規則正しい生活を記録していました。昔の計画表、生活日記、絵日記を見てみると、お手伝いの内容、子どもたちの遊びの様子、食生活などから、当時の暮らしぶりを具体的に読み取る事が出来ます。
尋常小学校高等科2年夏休生活日記(昭和15年)
 左の資料は、現あわら市の本庄尋常小学校高等科2年(現在の中学2年)女子生徒の夏休生活日記です。農村の子どもの生活が分かります。
▼起床・就寝 毎日、朝6時前には起きて、夜は9時頃には床に就いています。
▼学習 毎日、学習帳、算術、読方などに頑張っています。
▼食事・おかずの内容 食事の内容も今とはずいぶん異なっていて、少量のおかずでたくさんのご飯を食べています。おかずは、漬物、きゅうり、なす、豆腐、らっきょう、豆、揚げ、魚、南瓜などで、間食は西瓜。
▼手伝い ほとんど毎日、縄(わら)を編むや農業の手伝いをして、勉強時間が十分取れない日もありました。

昭和23年編集発行 75年の歴史 夏休みの友

夏休みの学習帳は、戦後、計画的な夏休みの生活や学習のガイドブックとして、都道府県毎に現場の教師の力によって、全国的に編集・発行されたのが始まりです。



水でつぼう 小学3年1949(昭和24)年 福島県教員組合・編集・発行【当館所蔵】



福井県版 夏休みの友：昭和50年代